



第35回読書感想画中央コンクール 作品募集のお知らせ

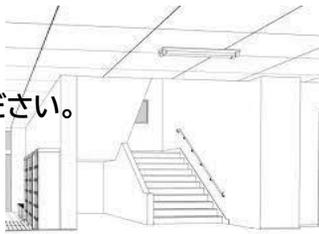


- ☆指定読書・自由読書それぞれ各1点応募できます。
- ☆×切…校内×切 令和6年1月9日(火)
- ☆指定読書…下記参照
- ☆自由読書…自由に選んだ図書の感想画
- ☆用紙・画材…用紙は画用紙・ケント紙・キャンパスボード・マニラ紙・ボール紙。画材は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。(版画、はり絵も可。)
- ☆寸法…36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下の大きさ。
- ※詳しくは、芸術科の藤田先生または図書館までお問い合わせください。

図書館開放について

◇◇保護者の皆様へ◇◇

面談週間にあわせて図書館を開放します。
お越しの際は、ぜひ図書館にお立ち寄りください。
【期間】12月11日(月)～15日(金)
【時間】13:00～16:00



図書委員オススメの本



『リバーズ』 湊かなえ・著 (講談社)

主人公の深瀬和久は平凡な絵に描いたようなサラリーマンで趣味らしいことといえばコーヒーを飲むことでした。ある日、行きつけの店で越智美穂子と出会い付き合うようになります。ところが謎の告発文が彼女に送りつけられ、そこにはたった一行「深瀬和久は人殺しだ」と書かれていました。実は3年前の旅行中に友人の広沢由樹を事故で亡くし、その場にいた深瀬ら4人は広沢が飲酒運転をしていたことを隠し続けていました。話を聞いた美穂子は深瀬の元を去ってしまいます。そのことをきっかけに3年前の事件の真相を探ろうとします。私がいいたと思った点の一つ目は広沢を通して進んでいく謎解きです。広沢が交流があった人が1人ずつ広沢との思い出や人間性について語る形式で物語が進み、深瀬が広沢について集めた情報を結び線にすることで少しずつ事件の真相が明らかになります。なので一章ずつ読むごとに手がかりが見つかり、考察しながら読むことができます。二つ目は、広沢の事故についてです。飲酒運転が原因だとされていた広沢の事故ですが、深瀬が情報を集めるうちに不審な点が挙がってくるようになります。広沢の死は本当に飲酒運転だったのか。三つ目は題名と表紙のコーヒー豆についてです。深瀬の趣味でもあるコーヒー。一見ミステリーのイメージとは結びつきませんが、事件とどう関係しているのか。また題名の「リバーズ」。実は物語の真相を知る大事なキーワードとなっています。この物語を読み終えた時、あなたの予想を超えた結末に行き着くと思います。ぜひ読んでみてください。

『武道館』 朝井リョウ・著 (文藝春秋)

この本はアイドルが主人公で、近年のリアルなアイドル像が描かれています。主人公の独特な心情が良い面も悪い面も書かれているのが特徴です。普段、目にしているアイドルの雰囲気にも通じるような細かな描写もあって、「アイドル」を好きな人はもちろん、あまり興味がない人も飽きずに読めると思います。



『サーチライトと誘蛾灯』 櫻田智也・著 (東京創元社)

この本は、自分が中学一年生のときに買った本です。昆虫が好きなので、表紙に昆虫の絵があるのを見て、「読んでみようかな」と思いました。あらすじは、主人公である鯨沢(エリサワセン)が昆虫目当てに訪れた場所で、さまざまな事件に巻き込まれてしまう、というものです。自分はこの本を読んで、鯨沢と他の登場人物との会話がとてもユーモアにあふれていて面白いと感じました。また、この本は短編集で難しい漢字もあまり使われていないので、長い文を読むのが苦手という人や、小説の難しい漢字が読みにくいな…と感じている人にも手軽に読むことができると思います。昆虫が大好きという方やミステリーが大好きという方、誰か読んでも面白いと感じることができると思うので、ぜひ読んでみてください。



『ききりんご紀行』 谷村志穂・著 (集英社)

この本には、恋愛小説家の著者がりんごの連載を通して、さまざまなりんごの魅力を知っていく様子が描かれています。最初は著者自身もあまりりんごについて詳しくないという状態から始まっているので、一緒にりんごについて学んでいくような気持ちで、楽しく読み進めることができます。また、りんごの種類ごとに細かくまとまりが分かれていますので、目次で気になったタイトルの話から読んでみるという楽しみ方もできます。勉強の合間や寝る前などに、1、2個ずつ読むということもできます。日本だけでなくたくさんの種類のリんごがあることや、それらのりんごの色や大きさ、収穫時期などの違いについても知ることができます。著者が疑問に思ったことを直接生産者に聞いている場面が多いため、普段の生活では知ることができないような豆知識をたくさん知ることができます。りんごの魅力が存分につまった作品なので、ぜひ読んでみてください。



『推し、燃ゆ』 宇佐見りん・著 (河出書房新社)

この作品は、「推し」を追いかける人々に共感を与え、このような文化をよく知らない人にも新しい世界を知ってもらえる作品だと思います。主人公のあかりは熱狂的なアイドルファンですが、ある日彼女が推しているアイドルが炎上してしまいます。あかりは推しが炎上しても変わらず情熱を注ぎますが、そんなあかりにとって「推し」がどれほど大切なのか、が伝わる表現が非常に魅力的です。また、あかりの私生活とSNS上のギャップも、この物語の雰囲気や独特な要素の一つだと思っています。作中のあかりの行動は「推し」という文化に触れていない人からすると少し異質に見えるかもしれませんが、そんな人にこそこの小説を通してこの文化を知ってほしいです。ぜひ、読んでみてください。



新着図書案内 11月

書名	著者名	出版社	請求記号
リサーチのはじめかた「きみの問い」を見つけ、育て、伝える方法	トーマス・S・マラーニー	筑摩書房	002
やわらかい頭の作り方 身の回りの見えない構造を解明する	ヨシタケシンスケ	筑摩書房	141
「さびしさ」の正体 YouthBooks	和田秀樹	小学館	159
イスラエル 人類史上最もやっかいな問題	ダニエル・ソカッチ	NHK出版	228
図説日本の島 76の魅力ある島々の営み	平岡昭利ほか	朝倉書店	291
エリア・スタディーズ パレスチナを知るための60章	白杵陽/鈴木啓之	明石書店	302
踊る熊たち 冷戦後の体制転換にもがく人々	ヴィトルト・ジャブウォフスキ	白水社	302
ピーカーくんがゆく! 工場・博物館・実験施設	うえたに夫婦	誠文堂新光社	432
日本お菓子クロニクル	日本橋かし大生シリーズ編集部	辰巳出版	588
半農半X的これからの生き方キーワード A to Z	塩見直紀	農山漁村文化協会	611
バッティング完全版	平野裕一	成美堂出版	783
高校生のための語彙+漢字2000	円満字二郎	筑摩書房	814
ちくま現代文記述トレーニング テーマ理解×読解×論述力	斎藤哲也	筑摩書房	817
ことば、身体、学び「できるようにする」とはどういうことか	為末大/今井むつみ	扶桑社	804
英語で読むシェイクスピア四大悲劇 IBC対訳ライブラリー	チャールズ・ラム	IBCパブリッシング	837
文学は地球を想像する 岩波新書	結城正美	岩波書店	904
椿ノ恋文	小川糸	幻冬舎	913.6
をんごく	北沢陶	KADOKAWA	913.6
アンと幸福	坂木司	光文社	913.6
トゥデイズ	長嶋有	講談社	913.6
星を編む	凧良ゆう	講談社	913.6
スピノザの診察室	夏川草介	水鈴社	913.6
わたしに会いたい	西加奈子	集英社	913.6
夜明けのはざま	町田そのこ	ポプラ社	913.6
十戒	夕木春央	講談社	913.6
風立ちぬ 文春ジブリ文庫	宮崎駿	文藝春秋	E726

